

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第27号
2012年8月15日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

動労千葉がストライキ 10・1外注化阻止へ！



動労千葉は8月7日、京葉車両センターで働く繁沢敬一副委員長と小林俊雄さんへの不当な業務指示、露骨な組織破壊攻撃に対して指名ストに立った。
検修・構内業務の全面外注化に向けた支社提案(7月24日)の翌日、京葉車両センター所長は、前記の2人を含む9人の労働者に対して、突然、仕業検査および西船橋派出所の見習を指定した。見習とは配置転換のための教育・訓練だ。
現在、2人の組合員は京葉車両センターの機動班で働いている。機動班は10・1外注化の対象からは外されており、仕業検査

組織破壊許さず 指名ストで反撃

査は外注化対象に入っている。支社提案直後に見習をやらせる狙いは、2人の動労千葉組合員を強制出向の対象とするためであり、動労千葉の組織破壊そのものだ。
スト突入集会の冒頭、長田敏之書記長がマイクを取り「この攻撃は検修全面外注化と一体だ。狙いは明白だ。京葉車両センターから動労千葉の中心メン



国鉄闘争全国運動の呼びかけ人であり、元国労横浜支部執行委員・国労新鶴見操車場分会会長であった佐藤功一さんが7月10日の早朝に逝去されました。
佐藤さんは、全国運動要綱の「新自由主義攻撃への対抗軸となる新しい労働運動をつくりあげる」に共鳴し、「動労千葉のような労働運動をめざして職場の労働運動を建設することが一番大事」だと訴え、呼びかけ人を引き受けて下さいました。
「呼びかけ人として一番呼びかけたいのは国労組合員、特に政治決着に賛成した国労闘争団の諸君であり、4者4団体の諸君です」と語り、「新自由主義との闘いの当面の最重要点であるアウトソーシング、リストラとの闘いの最先頭に立ちてもら

バーを排除するための」と会社の狙いを暴露・弾劾した。
ストに入った繁沢副委員長は「今回の見習指定は、外注化のための出向要員づくりだ。今日の闘いを皮切りに、全面外注化阻止へ総決起しよう」と檄を飛ばした。
7月19日付で国労から動労千葉に加入した小林さんは「国労で30年間がんばってきた。今回、動労千葉に加入したのは絶対に職場を守りたい、仲間とともに

京葉車両センターで組織拡大を実現

闘いたいという一心だと述べ、職場の青年に向かって「出向に行くためにJRに入ったんじゃない。動労千葉に結集してともに闘おう」と熱く呼びかけた。
外注化の対象となっている幕張支部、津田沼支部、鴨川支部、京葉支部、さらに青年部、動労千葉を支援する会の発言が続き、最後に田中康宏委員長が、「東労組は組合員がこうやって出向に駆り出されることを」

り組みの成果」だなんて言うている。仲間を平気で売り渡す全面外注化は安全を破壊し「第二の尼崎事故」を引き起こすものとなる。街頭で全労働者、市民に訴えてJRに抗議を集中しよう。
各職場で解雇撤回、外注化・非正規職化に対する闘いを起こそう。動労千葉を先頭に、外注化阻止・非正規職撤廃の闘いで階級的労働運動の復権を闘い取ろう。その中で全国運動2000会員に向かって組織を拡大しよう。

の車両センターへのシラマキをさらに強化しよう。また、検修全面外注化は安全を破壊し「第二の尼崎事故」を引き起こすものとなる。街頭で全労働者、市民に訴えてJRに抗議を集中しよう。
各職場で解雇撤回、外注化・非正規職化に対する闘いを起こそう。動労千葉を先頭に、外注化阻止・非正規職撤廃の闘いで階級的労働運動の復権を闘い取ろう。その中で全国運動2000会員に向かって組織を拡大しよう。

「呼びかけ人として一番呼びかけたいのは国労組合員、特に政治決着に賛成した国労闘争団の諸君であり、4者4団体の諸君です」と語り、「新自由主義との闘いの当面の最重要点であるアウトソーシング、リストラとの闘いの最先頭に立ちてもら

「呼びかけ人として一番呼びかけたいのは国労組合員、特に政治決着に賛成した国労闘争団の諸君であり、4者4団体の諸君です」と語り、「新自由主義との闘いの当面の最重要点であるアウトソーシング、リストラとの闘いの最先頭に立ちてもら

追悼 佐藤功一さん

佐藤さんは、全国運動要綱の「新自由主義攻撃への対抗軸となる新しい労働運動をつくりあげる」に共鳴し、「動労千葉のような労働運動をめざして職場の労働運動を建設することが一番大事」だと訴え、呼びかけ人を引き受けて下さいました。
「呼びかけ人として一番呼びかけたいのは国労組合員、特に政治決着に賛成した国労闘争団の諸君であり、4者4団体の諸君です」と語り、「新自由主義との闘いの当面の最重要点であるアウトソーシング、リストラとの闘いの最先頭に立ちてもら

盛りに立っていくというのが革同の組織だったわけだ。
私はそのころ一番末端の横浜の現場におりましたけれども、革同というのはそういうものだったんです。
しかし、今は国労の組織そのものがカタカタになってしまっている。だから国労の執行部にあって影響力を持つという余地はないんですよ。革同は国鉄、国労ともなくなると言っ

国鉄労働運動を甦らせよう



「共に闘う国労の会」は7月25日〜27日、静岡県伊東市内での国労第81回定期大会に向け、闘う国労を再生させようということを全力で訴えました。

25日午後伊東駅前で、JR東日本の妨害を圧倒して大会の意義を訴えるシラ400枚を配布、250枚が代議員・傍聴者の手に渡りました。

大会初日の26日には早朝から、会場の「ホテル聚楽」の前で大会向けのアピールのあと伊東駅頭へ移動して街頭宣伝、13時からは「国鉄闘争勝利！ 原発再稼働反対 7・26総決起集会」を開催しました。

「闘う国労を再生させる」 国労81回定期大会に向け訴え

伊東市内で国鉄労働組合（国労）の定期大会（国労第81回定期大会）が開幕している。国労の再生を訴えるシラ400枚を配布、250枚が代議員・傍聴者の手に渡りました。

大会初日の26日には早朝から、会場の「ホテル聚楽」の前で大会向けのアピールのあと伊東駅頭へ移動して街頭宣伝、13時からは「国鉄闘争勝利！ 原発再稼働反対 7・26総決起集会」を開催しました。

伊東市内で国鉄労働組合（国労）の定期大会（国労第81回定期大会）が開幕している。国労の再生を訴えるシラ400枚を配布、250枚が代議員・傍聴者の手に渡りました。

大会初日の26日には早朝から、会場の「ホテル聚楽」の前で大会向けのアピールのあと伊東駅頭へ移動して街頭宣伝、13時からは「国鉄闘争勝利！ 原発再稼働反対 7・26総決起集会」を開催しました。

伊東市内で国鉄労働組合（国労）の定期大会（国労第81回定期大会）が開幕している。国労の再生を訴えるシラ400枚を配布、250枚が代議員・傍聴者の手に渡りました。

大会初日の26日には早朝から、会場の「ホテル聚楽」の前で大会向けのアピールのあと伊東駅頭へ移動して街頭宣伝、13時からは「国鉄闘争勝利！ 原発再稼働反対 7・26総決起集会」を開催しました。

伊東市内で国鉄労働組合（国労）の定期大会（国労第81回定期大会）が開幕している。国労の再生を訴えるシラ400枚を配布、250枚が代議員・傍聴者の手に渡りました。

大会初日の26日には早朝から、会場の「ホテル聚楽」の前で大会向けのアピールのあと伊東駅頭へ移動して街頭宣伝、13時からは「国鉄闘争勝利！ 原発再稼働反対 7・26総決起集会」を開催しました。

動労千葉は8月3日、千葉労働局に対し、JR東の外注化は偽装請負以外の何物でもないことを弾劾する、集団交渉を行った。

動労千葉側は繁沢副委員長、長田書記長や川崎執行委員、石田弁護士、動労千葉を支援する会で臨みました。

7月24日、JR千葉支社は100人にも及ぶ強制出向を前提とした要員削減計画を提案してきた。動労千葉組合員はそのうち50人近くを占める。以前から説明しているが、厚労省の告示（37号）に照らしても、この外注化はまったく説明がつかず、明らかな偽装請負である。

7月25日には、繁沢副委員長と小林組合員に対して、一方的に仕業検査と西船橋派出の見習

厚労相あてに違反申告

強制出向対象の動労千葉組合員49人

偽装請負は安全と雇用を破壊



いを指定してきた。千葉支社提案の10・1外注化業務には、作業は含まれるが機動班は含まれない。繁沢、小林の両氏をなんとか職場から排除したいという苦肉の策であり、許しがたい不当労働行為である。

そして何と、今年1月に京葉車両センターで外注化を強行した「1日勤」の業務をJRが行っているという事態が明らかになった。外注先の労働者が超過勤務を行えなかったため、JRの労働者がとって代わって作業をしていたのだ。請負先

はその作業を遂行する能力がないことを、自ら認めたに等しい。動労千葉の要請に対して、千葉労働局はおおよそ以下のような対応をしている。

これは千葉だけの問題ではなく、対応が地方ごとで違うのはよろしくない。全国の労働局が一致して進めるべき内容だ。

就業規則に出向の規程はあるのか。（あるならば）JRに教育を任せるための出向、つまり業務委託のための出向と理解する。

千葉労働局の対応は総じて緊迫感はなく、労働者の立場に配慮する姿勢は感じ取れません。動労千葉が幾度か要請に行っているにもかかわらず、幕張車両センターの存在すら知らず、「職場

全体の外注化でJRはどんなメリットがあるのか」などというカマトトぶりまで発揮しています。

しかし、他労組との出向協定の「原則3年」がいかにペテンであるか。JRから作業指示が出るたびに、「安全衛生上緊急に処する必要性」とされていることなど、偽装の真実が具体的に暴露される中で、何らかの対応を行うことを表明しました。

とりわけ、動労千葉の若手の組合員から、「実施されてしまっただけでは遅いのだ」という強い要請には、言葉を濁すだけでした。

動労千葉に圧倒的な正義があります。「10・1阻止」に向けて着実に歩を進めていきましょう！

業務委託は偽装請負
千葉動労が厚労省に申告
JR千葉支社が10月1日に実施する業務委託は偽装請負だとして、国鉄千葉動力車労働組合（田中康宏執行委員長）は3日、厚労省に是正を求める申告書を提出した。

申告書によると、同支社が電車の検査や修繕などを業務委託するJR千葉鉄道サービスは同業務を処理する技術や実績がない上、経験のある同組合員を出向させることで業務委託を成立させることが偽装請負に当たるとしている。

田中執行委員長は会見で「違法な委託外注化、鉄道の安全安全、雇用の破壊の観点から問題であり、徹底して反対したい」と話した。同支社は業務委託について「社員の技術力や経験を後進へ確実に継承させるためのもの」としている。

これに対して、討論を通じて「中執では連合問題について議論はしていない」と答弁させているものの、実質的に4・9政治決着＝連合路線を貫徹するものになっています。

第3は、「瓦礫が復興を妨げている」という連合路線丸出しの石上あいさつだったにもかかわらず、さすがに福島・水戸現地の怒りに押されて、原発反対を確認する集約になりました。

第4は、路線的批判なしに各課題が議論されるために、反主流による批判も連合路線には根底的に屈服しています。

こうした大会の現状を乗り越えて、階級的に闘う国労の再生に向かって共に闘う国労の会への加入を心から訴えます。（国労新潟駅連合分会分会長 星野文男）